

# 実効性のある温室効果ガス削減政策で気候問題の解決を主導

忠清南道には全国の火力発電所59基のうち29基（約50%）が位置し、2019年基準温室効果ガス排出量は韓国の総排出量701百万トンのうち154百万トン(22.1%)と、全国最多の地域です。

本道は、このような厳しい気候環境の中で、気候変動の対応に向けた国内外との協力を強化し、道民に炭素中立の実践を拡散させるための制度的基盤づくりに取り組み、革新的な炭素中立優秀政策を施行しました。



# 01

## 気候変動対応に向けた国内外との協力を広範囲に拡大し、忠清南道のリーダーシップ強化

忠清南道は脱石炭を速やかに履行するために、2017年から脱石炭国際カンファレンスを開催し、全国を先導する政策の発表および国内外における脱石炭エネルギーシフトの公論化を進めてきました。

2021年度には、アジア太平洋地域で炭素中立を拡散させるために、気候国際機構であるアンダー2コアリションとともに「アンダー2コアリションアジア太平洋地域フォーラム」を初めて開催し、「炭素中立に向けたレース」というテーマで炭素中立リーダーシップの重要性やエネルギーシフトの具体的な実践方策について議論しました。

潘基文（パン・ギムン）第8代国連事務総長、イギリス・スコットランド自治政府のニコラ・スタージョン第1首相、クライメートグループのヘレン・クラークソンCEO、RE100のサム・キミンズ総括責任者などが特別に一堂に会して、炭素中立の緊急性や必要性を強調し、目標の達成に向けた最善の策を探る意義深い時間となりました。

また、アンダー2コアリションのアジア太平洋地域議長（2020年12月選定）の資格で2021アンダー2コアリション総会（イギリス・グラスゴー）に参加しました。そして、地球の気温上昇を1.5°C以下に抑え、2030年までに世界の温室効果ガス排出量を2010年比45%削減するためのMOUを締結し、忠清南道の先導的な脱石炭政策を紹介する一方、世界中に炭素中立を広めるために積極的に取り組みました。

### 国内外との協力による気候危機対応の主な内容

区分	主な内容
<b>韓国の脱石炭化の加速</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>脱石炭国際カンファレンスの開催および脱石炭エネルギーシフトの公論化（2017年10月）</li> <li>忠清南道が全国で初めて脱石炭連盟（PPCA）に加盟（2018年10月）</li> <li>気候非常状況を宣布、政府より1年先に炭素中立宣言（2019年10月）</li> <li>全国脱石炭金庫宣言に参加（2020年9月）</li> <li>韓国初、2050炭素中立ビジョン・戦略を発表（2021年9月）</li> </ul>
<b>忠清南道の優秀政策を世界へ発信</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンダー2コアリション総会に参加（2021年11月）</li> <li>イギリスCOP26に特使派遣およびカナダ大使と気候変動に関する懇談会（2021年11月）                      》保寧火力発電所1・2号基の早期閉鎖および発電所の寿命延長中止の成果を共有</li> </ul>
<b>脱石炭に関する政府への建議</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国火力発電所の78%を占める仁川広域市・江原道・全羅南道の市長・道知事の署名を受け、脱石炭連盟への加盟およびグリーンエネルギーシフトに関する政府への建議を推進（2021年9月）</li> </ul>



忠清南道の脱石炭連盟への加盟



2021忠清南道脱石炭国際カンファレンス



2021アンダー2コアリション総会に参加

# 02

## 炭素中立の拡散に向けた制度的基盤づくり

気候危機対応行動を促し、炭素中立を拡散させるために、専門家や市民・社会団体、産業界などが参加する「忠清南道炭素中立委員会（87人）」を発足し、気候・経済・公正な移行・輸送・建築など8分科を構成し、体系的な炭素中立の基盤づくりに取り組みました。

また、炭素中立に関する道民の実践を拡大し、認識を高めるために、各ライフステージに応じた環境プログラム（1泊2日の宿泊型炭素中立体験専門施設）を提供する炭素中立研修院を韓国で初めて設置するため、198億ウォンを投入して建設しています。

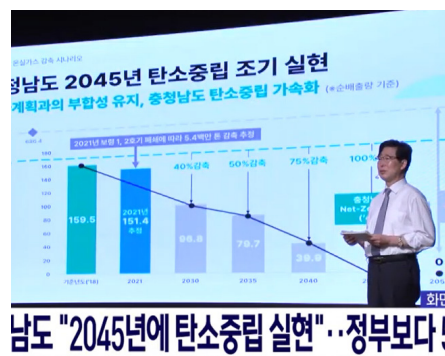
それだけではなく、火力発電所の早期閉鎖による地域経済の低迷や雇用減少問題を解決するために、2025年までに100億ウォンの助成を目指して「公正な移行基金」を積み立てています。同基金は今後、再就職訓練、雇用の承継、エネルギーシフト企業の誘致、住民福祉事業、社会的プログラムの運営などの支援に充てる予定です。

炭素中立拡散のための制度的基盤の主な内容

区分	主な内容
炭素中立 コントロールタワーとして の本格的な活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>忠清南道炭素中立委員会の8つの分科別に委員会を開催（2021年10月）</li> <li>忠清南道炭素中立委員会の発足式を開催（2021年12月）</li> <li>「忠清南道2045炭素中立」を発表（2021年12月）</li> </ul>
炭素中立研修院の建設	<ul style="list-style-type: none"> <li>忠南広域型炭素中立研修院の建設妥当性調査および基本計画の委託を推進（2020年6月～2021年6月）</li> <li>忠南広域型炭素中立研修院造成基本計画を策定（2021年6月）</li> <li>共有財産・地方財政投資事業・公共建築審議の履行（2021年7月～10月）</li> <li>忠南広域型炭素中立研修院の企画設計委託の推進（2021年9月～12月）</li> <li>忠南広域型炭素中立研修院の建築工事の依頼（2021年12月）</li> </ul>
公正な移行基金100億 ウォンの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>基金造成の根拠づくりのための条例を制定（2021年2月）</li> <li>公正な移行基金設置運営計画を策定（2021年4月）</li> <li>公正な移行基金の造成のための協約を締結（2021年6月）               <ul style="list-style-type: none"> <li>忠清南道、発電所所在市・郡（保寧、唐津、舒川、泰安）、発電所3社</li> </ul> </li> <li>2025年までに100億ウォンを目指して公正な移行基金を造成中</li> </ul>



忠清南道炭素中立委員会発足式



忠清南道2045炭素中立の発表



忠清南道公正な移行基金造成業務協約式

# 03

## 他の市・道への波及効果の大きい、革新的な炭素中立優秀政策の施行

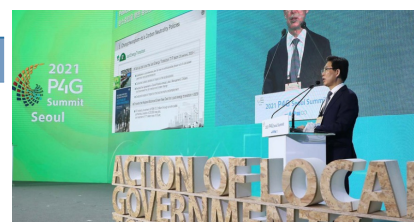
全国地方自治体・教育庁の金庫を対象に、「脱石炭・再生可能エネルギー投資実績指標」を選定評価に反映する「脱石炭・炭素中立金庫」を韓国で初めて導入しました。脱石炭・炭素中立金庫は、石炭火力は発電への投資から撤退し、再生可能エネルギーへのシフトを誘導する公共主導の炭素中立金融モデルとなりました。忠清南道は全国拡散への努力も並行し、2020年9月から2021年12月までに全国71機関の参加と239兆5,592億ウォンの財源を脱石炭に誘導する成果を収めました。

猛暑、酷暑などの異常気象への道民の対応能力を高めることができるように、韓国西部発電所と協力して町の共同施設へのクールルーフの施工および老朽化したボイラーの交換を行うなど、「気候危機安心村造成事業」を推進し、その結果、年間約5百万のエネルギー費用を削減することに貢献しました。

全国では唯一、10ヶ所の地域環境教育センターに計2億ウォンを支援し、地域に特化した環境教育を提供しています。計18,608人を対象に気候危機の深刻性や炭素中立実践の重要性、忠清南道の努力などについて教育し、より多くの道民に気候危機に関心を持って参加してもらおうべく、先進的な教育基盤づくりに積極的に取り組んでいます。さらに、公務員に対する環境教育を義務付けるとともに、訪問型道民環境教育も行い、計18,636人を対象に各主体に合った環境教育を提供しました。

### 革新的な炭素中立優秀政策の主な内容

区分	主な内容
脱石炭・炭素中立金庫の拡散	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国56の自治体、教育庁が脱石炭・炭素中立金庫宣言に参加(2020年9月)</li> <li>・脱石炭・炭素中立金庫の全国拡散に向けた市民社会団体協議(2021年2月)</li> <li>・2021P4Gの地方政府炭素中立セッションで金庫の広報および参加を奨励(2021年5月)</li> <li>・脱石炭・炭素中立金庫の拡散・発展に向けた環境部会議(2021年6月)</li> <li>・脱石炭・炭素中立金庫の政府政策への導入を建議するために教育部を訪問(2021年7月)</li> </ul>
気候危機安心村の造成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気候危機安心村造成事業推進計画を策定(2021年3月)</li> <li>・2021気候危機安心村造成事業を推進(2021年1月～12月)</li> <li>・忠清南道韓国西部発電間気候危機安心村造成に関する業務協約を締結(2021年5月)</li> </ul>
各地域に合わせた教育環境の造成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気候危機安心村造成事業推進計画を策定(2021年3月)</li> <li>・2021気候危機安心村造成事業を推進(2021年1月～12月)</li> <li>・忠清南道韓国西部発電間気候危機安心村造成に関する業務協約を締結(2021年5月)</li> </ul>



2021P4Gの地方政府炭素中立特別セッションで脱石炭・炭素中立金庫の広報および参加を奨励



脱石炭・炭素中立金庫の拡散・発展方策に関する環境部・環境公団・市民社会団体の会議



気候危機安心村(舒川郡サンドン里)へのクールルーフ施工(施工前 24.1℃ → 後 14.1℃)



礼山(イエサン)郡の地域環境教育センター(礼山内浦文化森の道)での教育の様子